

さつきやま魂

崎山中学校だより
10月28日 第12号
文責 校長 山下



「実りの秋」も終盤を迎えようとしています。10月は、立て続けに大きな行事があり、子どもたちも行事ごとに大きく成長しています。7日には、市中総体駅伝競走大会が行われました。男女合計21名の選手が、駅伝及びロードレースに参加しました。まず、ロードレースの部が行われ、男女とも1組目に出場し、序盤からトップ争いを繰り広げるなど、活躍でした。ロードレース終了後、女子、男子の順に駅伝の部が行われました。結果は、女子5位、男子6位という成績で、昨年度の順位を男女とも一つずつ上回るなど、選手全員が自分の役割を自覚してよく走りました。ロードレースや駅伝競走に参加した生徒はもちろんですが、夏の過酷な練習に耐え、練習を続けることができた生徒全員が、体力・耐力の向上とともに、貴重な経験することができました。この経験を、ぜひいろいろな活動に生かしてほしいと思います。

実りの秋 真っ只中!



〈さあ こい!〉



〈型は大丈夫?〉

13日には、職場体験(2年生)と福祉体験(3年生)の学習が行われました。今年度は、コロナ禍での実施ということで、1日だけの体験でしたが、各学年ともに有意義な体験となりました。職場体験では、各事業所において実際の仕事を体験することで、課題解決の力を身に付けるとともに、自分自身を振り返り、将来の自己の夢や希望に向けて、新たな志を持つことができました。また、福祉体験では、福祉問題に主体的に関わることで、五島市の現状と課題を再確認しました。福祉に対する正しい理解と介護の仕事の重要性を学ぶことができました。



〈上手くできた?〉

13日には、職場体験(2年生)と福祉体験(3年生)の学習が行われました。今年度は、コロナ禍での実施ということで、1日だけの体験でしたが、各学年ともに有意義な体験となりました。職場体験では、各事業所において実際の仕事を体験することで、課題解決の力を身に付けるとともに、自分自身を振り返り、将来の自己の夢や希望に向けて、新たな志を持つことができました。また、福祉体験では、福祉問題に主体的に関わることで、五島市の現状と課題を再確認しました。福祉に対する正しい理解と介護の仕事の重要性を学ぶことができました。



〈ロードレース男子スタート〉〈男子1区〉〈女子1区〉

今年初の読み聞かせ

15日には、1学期に実施できなかった崎山小学校での読み聞かせを行いました。今回は3年生が担当でした。久しぶりで緊張しながらも上手に読み聞かせができました。小学生も大喜びでした。



五島市ロボコン 崎山中で開催!

17日には、本校体育館で五島市ロボコン大会が実施されました。本校からは、全2年生11名と1年生1名の計12名が、基礎部門に参加しました。残念ながら、県大会出場とはなりませんでしたが、どのチームも工夫したロボットを製作し、大会に参加することができました。



記念植樹で地域貢献!

11日、鏝瀬公園近くの畑を整備し、クヌギやコナラの苗の植樹作業がありました。これは、崎山地区街づくり協議会の活動で、「親子で触れ合う林づくり」事業です。本校生徒も2年生の里中君と堀君が参加し、地域活動に貢献しました。10年後のカブトムシやクワガタなどの昆虫が見られることでしょう。



合唱祭に向けて

11月6日(金の午後)から合唱祭が行われます。

今年度はコロナ禍での実施のため、地域の方の参加はありません。少し寂しいですが、保護者の皆様には、ぜひ子どもたちの歌声を生で聴いていただければと思います。お待ちしております。



「生きる手応え」

私たちは誰でも、「生きる手応え」を感じながら生きたいと願っています。自分らしさが発揮でき、人に役立つことができることが、生きる手応えということでしょう。そのためにも、人に笑顔で接し、温かい言葉をかけることです。

.....(中略).....

私たちは、自分のしていることを認めてほしいと思っています。が、相手を認めるから自分も認められるのです。自分が人の役に立つことほど、嬉しいことはありません。役に立っているということは、周りの人に喜びを与えているということであり、それが「生きる手応え」につながります。

(心を育てるより)